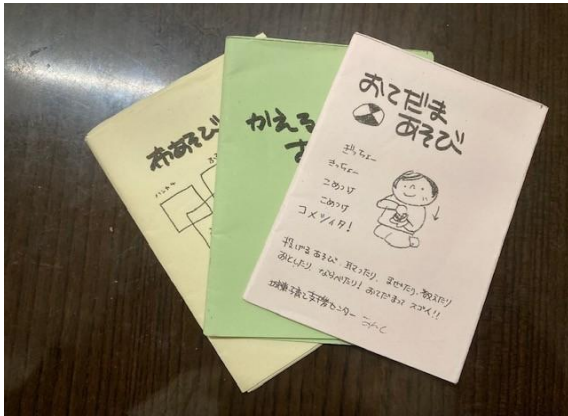


ろうきん

働く人と子どもの明日を応援プロジェクト

保育に関する講習会

2025年10月2日(火) 9:45~11:45、葵生涯学習センターにて、NPO法人実こころの保育に関する講習会を開催しました。講師は城東子育て支援センター長の納本裕子さん。日ごろお子さんと接していて大切にしていることや、どのような遊びを通じてお子さんとのスキップを育んでいるとかを参考資料や実際のおもちゃを見せていただきました。



実際に支援センターで使っている「あそび」の冊子です。可愛い絵が気持ちをほっこりさせてくれます。この中から私たちも託児で遊べそうな「あそび」を学び使わせていただきました。特に「わらべうた」は毎回支援センターの保育士が親子に向けてやっているそうで私たちも取り入れたいと思いました。



お子さんを預かる時に大事にしている事の1つに子どもには「泣く権利がある」という言葉が特に印象的でした。

託児をやるときママと別れる時にほとんどのお子さんが泣きます。30分以上泣き続けるお子さんもけっこういます。そんなときに「泣き止ませないと」と焦ってしまいましたが、そうではなく泣いている行為に寄り添うことが大事だなと思いました。

～その後の託児にて～

- ・泣きやまないときに焦っていましたが、赤ちゃんが泣く事が権利としてあるんだと思ったら、泣いていても気持ちに余裕をもって寄り添うことができました。
- ・「あそび」の小さな冊子をエプロンのポケットにいれています。
「次は何して遊ぼうかな？」と考えた時にすぐに取り出して、あそべるのでとても助かっています。

ろうきんさん！ありがとうございました！